

講演会

ネパール 大地震から1年 今とこれから

(Sat.)

2016.5.28

14:00~16:00

会場：仙台国際センター交流コーナー研修室

参加費：300円 (お茶付き)



講演者：宮原 麻紀 (みやはらまき)

ネパール・カトマンズ事務所長

民間企業勤務を経て2010年に国際協力事業団(JICA)青年海外協力隊にてネパールへ赴任。2012年7月にシャプラニールに入職。2012年11月よりネパール・カトマンズ事務所長。2016年4月に帰任し、東京事務局海外活動グループ所属予定。

ネパールでは約70年ごとに大地震が来ると言われていました。しかし、日本のように日々、地震があるわけではないため、人々、行政の防災の意識、備えは進んでいませんでした。そのため、シャプラニールでは2015年4月から首都カトマンズで地震防災キャンペーンを始めました。そして、その直後、ネパールを大地震が襲ったのです。

地震の備え、経験がないネパールの人々が発災直後、どのように感じ、行動したのか。暮らしはどうなってしまったのか。多くの援助機関が入り、社会が混乱する中で、シャプラニールはどのような緊急救援および復旧・復興活動を進めていったのか。そして、大地震から1年が経つ今、人々はどのような生活を送っているのか。

自身も大地震で被災しながらも、緊急救援、復旧・復興支援活動をおし進めたネパール・カトマンズ事務所長(2016年4月帰任予定)が、その時々のお気持ちを胸に、今後の復興支援にける想いを伝えます。

講演に伴うイベント

♥ ネパールへ送る メッセージを募ります

会場でネパールの人々へ送るメッセージを布などに書いてもらいます。キャラバン終了後に、ネパールへ届けます。

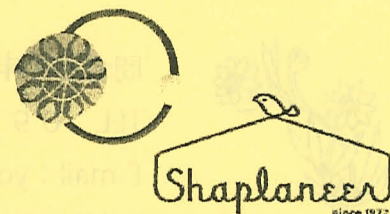
♥ 復興支援を 体感してみよう

ネパールの家は多くがレンガ作りです。地震の揺れで壊れ、撤去が必要となったレンガを実際に触ってみませんか。その重さ、もろさを体感してみてください。



♥ フェアトレードで応援

ネパールの女性たちが作ったフェアトレード商品の販売を通じて復興支援を応援してください。



みんなで応援キャラバンとは

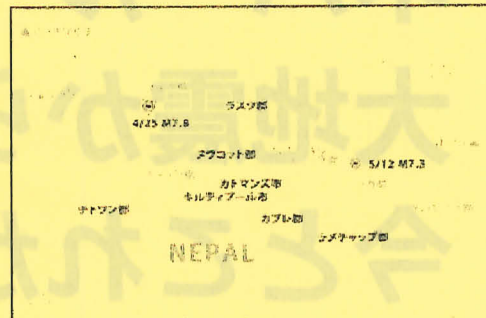
ネパール大地震発生から1年。これまでご支援をいただいた方々、また一般の方々へ、ネパール大地震被災地の現状についてお話をし、復興支援活動への支援を呼びかけるため全国を訪問するツアーを開催します。



ネパール大地震復興プロジェクト

2015年4月25日に発生したネパール大地震は、死者約9000人、全壊家屋約53万棟という甚大な被害を生み出しました。1996年よりネパールで日本人駐在員を派遣し支援活動を進めてきた当会は、発災直後から緊急救援活動を開始しました。これまで、仮設住宅支援など復興支援活動を進めてきましたが、もともと最貧国であったため行政の力や社会基盤が弱く、復興には長い時間がかかることが予想されます。

そのため、2016年度以降も復旧・復興支援活動をすすめていくことを決定しました。日本の市民の皆様から大地震発災直後には多大な支援をいただきましたが、今後とも現地の活動報告や人々の現状をお伝えし、引き続きネパールの人々の暮らしへ関心を持ち、復興支援への参加を呼びかけていきます。



◀ネパール大地震・復興支援活動情報

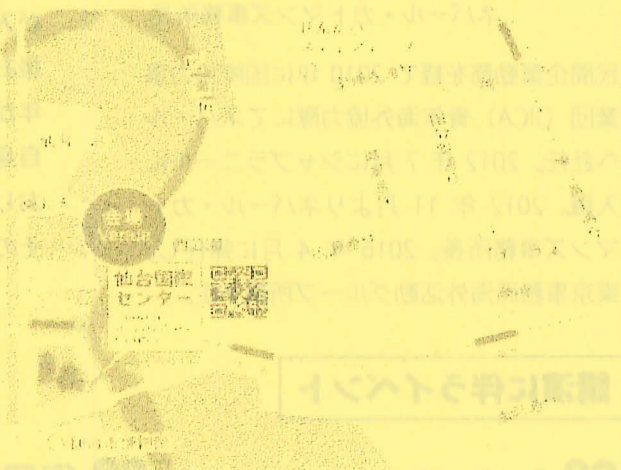


シャプラニールとは

1972年設立の国際NGO。2001年8月、特定非営利活動法人。行動する市民がつながり合うことによって社会的な課題を解決し、すべての人々が豊かに共生できる地球社会の実現を目指しています。バングラデシュ、ネパール、インドの南アジアで、児童労働の削減支援、児童教育支援、地域防災支援、フェアトレードなどの活動を行っています。また、日本国内では講演会やイベントなどを通して、地球規模の課題への関心を高め、行動する人々をサポートする活動を行っています。

会場のご案内

仙台国際センター会議棟交流コーナー研修室
仙台市宮地下鉄東西線「国際センター駅」より徒歩1分



問合せ・申し込み：シャプラニール仙台・ボンドウの会 原

TEL：090-3759-5904

E-mail：yokohara0131@jcom.home.ne.jp

website：http://www.shaplaneer.org/news/2016/03/project.html

